

ストップ患者負担「薬の追加負担はやめること」 リーフレットと請願署名用紙の追加注文にご協力を

自民、維新の与党は、患者負担について高額療養費の負担限度額引き上げ、薬の追加負担を今年度中に実施することを決め、国会で法改正する構えです。

薬の追加負担については、市販薬(OTC)との代替性を口実に、77成分1,100品目の医療用医薬品について、患者の薬剤負担を約5割とする計画です。患者負担は健保法付則で3割が限度と定められているため、「一部保険外療養」の創設で調整が進められています。

市販薬と成分・投与経路が同一で、1日最大用量が異ならない医薬品を機械的に抽出し、薬価の25%を保険外とするもので、保険分75%の3割負担で22.5%と保険外25%の合計で47.5%、つまり患者には約5割の薬剤負担を強いるものです。

しかも今回新設される「一部保険外療養」は、一度許すと医薬品以外にも対象が広げられ、保険外割合も引き上げられる危険性が高いものです。

厚労省はこれによる医療費削減効果を900億円と試算していますが、被保険者8千万人で換算すると1人年間578円、月額48円、現役世代は労使折半のため24円の減額でしかありません。

同封の「リーフレット」と「請願署名付きポケットティッシュ」(50個単位)の追加注文をお願いいたします。送料含めすべて無料ですので、是非ご注文をお願いいたします。

..... 申 込 書

医療機関名 _____

担当者名 _____

ご住所〒 _____

TEL _____

「声を上げよう！」リーフレット	枚
請願署名付き ポケットティッシュ	個

FAXで協会事務局(088-832-5229)までお送りください。

